

## 第130回 番組審議会 議事録

- ◆開催日時 2024年8月20日(火)
- ◆開催場所 (株)キャッチネットワーク 特別会議

- ◆出席者

- <委員>

- 刈谷市：岸本 浩子 委員・毛受 誠 委員
  - 安城市：石川 昌子 委員
  - 知立市：甲斐 春美 委員
  - 高浜市：福島 伸一郎 委員長
  - 碧南市：本多 幸子 委員

- <エフエムキャッチ>

- 代表取締役社長：村田 康弘 取締役 専務執行役員：小森 浩司
  - 局長：勅使河原 正直 土田 隆浩

- ◆欠席者

- 安城市：岡田 大輔 委員
  - 知立市：本田 和弥 委員
  - 高浜市：竹内 貴子 委員
  - 碧南市：高橋 愛 委員

- ◆議事録公開方法

- 自社公式WEBサイトにて公表

- ◆議事内容

- 議題1 番組審議

- 「Pitch Beat Street 838」についての意見交換

- 番組内容 :

- 気持ちも疲れがちになる夕方。ノリのよいミュージックでリフレッシュさせるミュージックプログラム。パーソナリティ自身が番組内の音楽をすべて選曲する、音楽を中心とした番組。各パーソナリティの個性を活かしたオリジナルコーナーや、テレビ・ラジオ同時生放送コーナーも。オアシススタジオから生放送。

- ターゲット :

- 帰宅者、ドライブ中の方、学生など

<局より委員へ>

審議対象番組についての説明実施。

<委員から局へ>

**【議題1】「Pitch Beat Street 838」について**

■委員より

- ・個人的にトークが長めに感じた。
- ・パーソナリティの中には名古屋弁の人もいて親近感を持てた。
- ・野球がマニアックすぎたが、好きな人には喜んでもらえるのではないかな。
- ・この時間は、子どもの送迎に終わっていてなかなか聞く機会はないので、個人的には楽曲が多くて聞き流せる程度の情報がうれしい。
- ・リラックスした雰囲気番組で、仕事終わりにゆるく聞けるのではないかな
- ・お祭りの内容などを話していたので、聞いた人が訪れ行動にもつながるので良いのではないかな。
- ・忙しい時間なので、なかなか聞く機会がなかった
- ・個人的にはしゃべりが多かった。
- ・叫びのようなコーナーがあり、少ししつこく感じた
- ・長いながらも、もっと聞きたいと思えるようなトークだった
- ・アンテナを伸ばして聞くことができた。ZipFMの方がよく聴こえた

■事務局

→ZipFMと送信出力が違うため、音の大きさが違う

■委員より

- ・スマホで聞いたら、高音質で全国で聞けるのがすごいと思った
- ・南海トラフ臨時情報はどれくらい流したのか？

■事務局

→臨時情報が出た以降、生放送の番組で周知につとめた  
防災インフォでは、備えなどを中心に紹介した

**【議題2】番組全体について**

■委員より

- ・防災インフォメーションを聞いて、体験者の話でためになる話だったので、もっと多くの人に聴いてもらえると良かった。
- ・タイムテーブルの「防災」表記はどういう意味か？

■事務局

→「防災インフォメーション」が入るかどうか

■委員より

・周りでラジオを聞いていない人が多く、浸透させるのが難しいと感じている  
ケーブルテレビのニュースなどは見ている人はいるが、ピッチ FM を聞いている人が少ないのもったいないなど感じている

■事務局

→ポッドキャストなど新しいアイデアを取り入れ認知向上につとめていきたい

■委員より

地域の人の出演枠を作り巻き込んでいったら良いのではないか

■事務局

→以前は、Pitch のスタッフとして、多くの人が出ていた。新型コロナ以降に関わり方が変わってしまった

■委員より

・災害が起きたら、パーソナリティが対応するのか、誰かに切り替わるのか？

■事務局

→規模や放送期間に合わせて、パーソナリティ、災害放送班のどちらでもできるように準備をしている

■委員より

・pitch スポットとはどんなものか

■事務局

→コーナーで店や団体を紹介し、PitchFM のファンになってもらうシステム。災害時の情報収集を目的に行っている

事務局から

次回日程 2024年10月22日(火) 11:30~13:00(予定)

意見交換番組:「Break!」

以上の議事を進行し、閉会しました。

以上